



2023年12月1日

各 位

会 社 名 カルビー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 江原 信
(コード番号：2229 東証プライム市場)
問 合 せ 先 CFO兼財務・経理本部長 田 邊 和 宏
(TEL：03-5220-6222)

ポジティブ・インパクトファイナンスによる資金調達を実施 ～自社初のサステナブルファイナンス活用～

カルビー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO：江原 信、以下カルビー）は、株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下みずほ銀行）との間で、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス」によるシンジケーション方式の限度貸付契約を締結し、本日資金調達を実施しました。

ポジティブ・インパクトファイナンスはサステナブルファイナンスの1つで、ポジティブ・インパクト金融原則^{※1}に基づく評価フレームワークを活用し、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトを包括的に評価した上で目標設定・進捗管理を行い、ポジティブなインパクトの拡大とネガティブなインパクトの緩和に取り組む企業の継続的な支援を目的として融資が行われるものです。

カルビーグループは、2030 ビジョンの実現に向けて、サステナビリティ経営を基盤に据えています。サステナビリティ経営を行う上で、カルビーグループが将来にわたって事業活動を継続するために重要な社会課題を2020年にマテリアリティとして特定しました。その後の外部環境の変化を踏まえ、人権や生物多様性の課題等、対応の重要性が高いテーマを追加し、2022年12月に5つのマテリアリティと13の課題を再特定しています。

本契約は、これらマテリアリティへの取り組みを中心にカルビーグループが設定したKPIに対して、定性的・定量的に分析された上で、目標達成に向けた取り組みによる環境・社会・経済へのポジティブインパクトの拡大、ネガティブインパクトの緩和が特にSDGsの達成に貢献すると評価を受け、締結に至りました。当社としてサステナブルファイナンスの活用は初めてとなります。

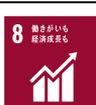
なお、本契約に際し、株式会社格付投資情報センター（R&I）^{※2}から第三者意見書を取得しています。

カルビーグループは、企業活動を通して社会価値を提供し、持続的成長と持続可能な社会を実現することを使命としています。環境・社会・経済を取り巻く課題に対して、ステークホルダーとともに新たな価値を創造する「サステナビリティ経営」を今後も実践してまいります。

本契約の概要

組成方法	シンジケートローン
実行日	2023年12月1日
限度貸付契約金額	300億円
アレンジャー	みずほ銀行
参加金融機関	広島銀行、りそな銀行、他金融機関 計20行

ポジティブ・インパクトファイナンスにおけるカルビーグループが設定した KPI 一覧

インパクト	KPI	最新状況	目標・方針	SDGs
食糧、健康・衛生	たんぱく質を多く含む商品の拡大 販売金額 (2022 年度比)	(基準年のためデータなし)	2030 年度：200%	 
包括的で健全な経済、雇用	女性管理職比率 (カルビー株式会社)	2022 年度：23.3%	2023 年度：30%超	 
健康・衛生	食塩無添加・低塩・減塩商品の拡大 販売金額 (2022 年度比)	(基準年のためデータなし)	2030 年度：200%	
資源効率・安全性	水の総使用量の削減 (2018 年度比) (カルビー製造拠点)	2022 年度： 3.9%増加	2030 年度：10%	 
	石油由来のプラスチック包材の代替・削減 (目標：環境配慮型素材の使用率)	2022 年度 40.39 トン	2030 年度：50% 2050 年度：100%	 
気候	GHG 総排出量削減 (スコープ 1, 2, 3) (2018 年度比)	2022 年度： 2.8%増加	2030 年度：30%	  
廃棄物	廃棄物削減 (2018 年度比) (カルビー製造拠点)	2022 年度： 1.9%増加	2030 年度 10%	  
文化・伝統、健康・衛生	フードコミュニケーション累計参加者数 (2019 年度～5 カ年)	2022 年度： 301,175 人 (2019 年度以降累計)	2023 年度：40 万人	 
資源効率・安全性、食糧、土壌	土壌分析による適正な施肥実施 リン酸減肥普及率	2023 年度： 23.7%	2027 年度：80%	 
資源効率・安全性、人格と人の安全、生物多様性と生態系サービス	認証パーム油 100% 使用	2022 年度：100% (マスバランス方式)	2030 年度：100%	   

当社のサステナビリティに関する取り組みにつきましては、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.calbee.co.jp/sustainability/>

※1) ポジティブ・インパクト金融原則：国連環境計画・金融イニシアティブ（1992年の地球サミットに続き、持続可能な金融を推進する目的で設立された国連環境計画とグローバル金融セクターとのパートナーシップ）の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが2017年に発表したSDGs達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の3側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっています。インパクト特定のツールとして、気候、水、エネルギー、生物多様性、文化・伝統等22のカテゴリーからなるインパクトレーダーを提示しています。

※2) 株式会社格付投資情報センターのウェブサイト

<https://www.r-i.co.jp/index.html>

【カルビーグループについて】

1949年の創立以来、私たちは、自然の恵みを大切に活かし、おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかな暮らしへの貢献を実践してきました。カルビーグループは、ライフラインをつなぐ食品企業として、サステナビリティを経営の根幹に据え、食を通じて社会課題を解決することで、新たな食の未来を創造します。(<https://www.calbee.co.jp/>)